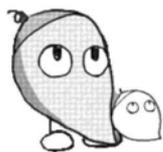


とんがらし通信



今年も粘っこく
いきまっしょい。



No.231



～主な内容～

- ・施設長コラム ・クリスマスコレクション
- ・成人を祝う会 ・すてーじ ・研修報告
- ・活動報告（もちつき、ホテルランチ、
ボウリング、初詣、温泉）
- ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2018年1月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



本当に思いやらなければいけないのは誰なのか？ の巻

またしても。。。またしても沖縄で米軍機による事故が相次いでいます。

昨年10月11日、沖縄県東村の牧草地に米軍の大型輸送ヘリが墜落・炎上しました。付近には住宅が点在しており、小学校からわずか2 kmたらずの場所でした。12月7日には宜野湾市内の保育所の屋根に米軍ヘリの部品が落下。園児・職員ともにけが人は出なかったものの、当初米軍が事実関係を否定したことから、通報した園長による『自作自演』という誹謗中傷がネット上を駆け巡るとい信じられない経過をたどります。その6日後の12月13日には同じ宜野湾市にある小学校の校庭におよそ8 kgもある米軍ヘリの窓が落下し、児童1名がけがをしました。事故から1カ月が経過した今も安全確保の観点から校庭の使用ができず、事故の恐怖から登校できなくなっている児童もいるといます。さらに年が明けて1月6日うるま市の海岸に、1月8日には読谷村の廃棄物処分場に、立て続けに米軍ヘリが不時着しました。このうち読谷村の不時着現場は民間のホテルから400メートルの距離でした。米軍はこの時も『予防着陸』という言葉を使い、事故の事実を歪曲しました。あまりに頻発する事故に、小野寺五典防衛大臣も『多すぎる。沖縄のみなさんの心配は当然』と一応のコメントはしました。しかし、翁長知事はじめ多くの県民の幾度とない抗議にもかかわらず、米軍は事故から1週間ほども経つと、事故原因を明らかにすることもなく当たり前のように飛行再開を決め、日本政府もそれを容認するといういつもの姿勢です。翁長知事は一連の事故に対してこうコメントしました。『繰り返し事故を発生させている米軍の対応に多くの県民が大きな不安を抱えている中で、従来と同様の対応で済ませようとする米軍や、それを容認する日本政府の姿勢は断じて容認できない』と。

これまでも繰り返し言っていることですが、国土のわずか0.6%の面積に在日米軍専用施設の実に73%が存在し続けている沖縄の状況を長期にわたり放置し続ける日米両政府の姿勢には改めて強い怒りを覚えます。ひとたび事件・事故が起こった時の『日米地位協定』の矛盾については以前書いた通りですが、それにも増して常々『強固な同盟関係にある』と言っているアメリカに対して、あまりにもものが言えない日本政府に不信感を禁じえません。平成30年度の防衛省予算はおおよそ5兆2,000億円ですが、そのうちの実に3,000億円以上が『米国製防衛装備品』という名の『アメリカからの武器購入』に充てられます。そればかりか、昨年11月に訪日した際のトランプ大統領による強硬なセールスによって、日本政府は今後も防衛予算を増額させていく公算が大きいのです。ちょうど今年は、5年ごとに装備品の購入を決める『中期防衛力整備計画』の策定年にあたっているため、この部分は注視していく必要があると思います。

もうひとつ、日米の関係を考えるときに忘れてならないのは『在日米軍駐留経費負担』いわゆる『思いやり予算』です。平成28年度から5か年の思いやり予算総額は9,465億円に上ります。つまり年間1,900億円ほどが思いやり予算と称して在日米軍のために支出されているということです。思いやりは留まる場所を知らず、このほか『米軍再編経費』、『SACO（沖縄に関する特別行動委員会）経費』などを含めると、年間に3,900億円を超える負担を強いられているのです。これらは当然、在日米軍の駐留のみならず、民意を蔑ろにし工事再開を強行する辺野古の新基地建設や基地・訓練の『強化』に使われているのです。長きにわたる沖縄の不条理を叫び続ける沖縄県民の血税もその財源にされていることを忘れてはいけません。本当に思いやらなければならぬのははたして誰なのでしょう。「日米同盟」を絶対視し、世界でも異常に突出している米軍関係経費負担を増やし続ける安倍政権の対米従属姿勢を根底から改めること、そのためには一人ひとりが考えてきちんと政治に参加していくことが大切だと思います。

ちなみに…最新鋭のステルス戦闘機は1機147億円、話題のイーグリスアショアは1基800億円、障害福祉人材の処遇改善予算が年間約120億円。これをどうとらえればよいのでしょうか。福祉人材の確保よりも戦争の道具の確保を優先する国では、福祉人材の慢性的不足も納得すなあ。。。 (管理者 山口 収)

つどいコレクション第2弾～クリスマス Ver

性について考えるためにまずはおしゃれをしてみようというコンセプトで始まったこの企画。好評につき第2弾として「クリスマスコレクション」が開催されました。時期が近いということもあって、サンタさんだったり自分がツリーになったり、はたまたアニメのキャラクターだったり・・・前回より参加者も増え、バラエティー豊かになりました。皆の注目を浴びるのを恥ずかしがっている参加者もいましたが、それもおしゃれをするからこそ。当日だけでなく、特別な日は服装を何にしようかと何日も前から考えた経験がある方も多いのでは？みなさん晴れ晴れした表情をしていて「きれい！」「かわいい！」という声があちこちから聞かれました。おしゃれを楽しみながらクリスマスを満喫できた時間となりました。第3弾もあるかもしれませんね。

(記：高橋杏)



tippig



のびのびべったん

餅つき大会！



正月に行う行事をみんなで考えて、久しぶりに「餅つきをやってみよう！」という話があがり、1月12日にグループ合同で餅つき大会を行いました。

計画は立てたものの、不安になってきたので一週間前にグループ活動での試作を経て、当日を迎えました。試作のお餅は柔らかすぎたので今回は水を少なめにしたつもりでしたが、またまた柔らかめの餅米が炊き上がりました。そんなことは関係ないよとばかりに、お餅をつく人にはねじり鉢巻きをしていただいて「よいしょー！よいしょー！」と掛け声を掛けながらどんどんお餅をついて行きます。つく人とお餅を返す人の連携がとてもうまくって、大成功でした。つき終わったお餅は給食の時にみんなで美味しくいただきました！

臼を洗うのは大変でしたが、お餅つきの時のみんなの笑顔や終わった後に「楽しかった！」と言ってもらえたのでまた来年も計画してみたいと思います！（記：志藤）





成人を祝う会 開催しました！



1月18日、成人を祝う会を行いました。今年成人を迎えられたのはもみじグループの永坂葵さんとめいぷるグループの田中七海さんです。会が始まるまでの間、幼少期や学生時代にお世話になった方々との久しぶりの時間を楽しんでいました。素敵な衣装を身にまとい、お二人とも堂々とした様子で会に参加していました。

ミニコンサートではピアニストの馬場千尋さんにお越し頂き、皆さんに馴染みのある曲をたくさん演奏していただきました。アナと雪の女王の「Let it go」が流れると、七海さんは音楽に合わせて体を動かし楽しそうに聴いていました。

葵さんとも七海さんとも同じグループで活動した経験のある私にとって、この会はとても思い入れのあるものでした。葵さん、七海さん、これからも一緒にたくさんの経験をしていきましょう。成人おめでとうございます。

(記：佐藤絵)

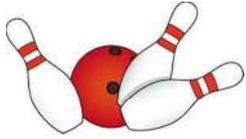


仙台つどいの家 実践発表会 「すてーじ」

12月9日(金)、宮城野区文化センターパトナシアターにて、仙台つどいの家「すてーじ」を開催しました。私たちつどいの家は、しょうがいのある方も地域社会でいきいきと、その人らしい生活を送ることができるような街づくりを目指して活動しています。日常の何気ない利用者さんとの関わりの中には、びっくりするような発見や心が震える感動がいっぱい詰まっています。それら一つひとつの実践を短い映像にまとめたものが「すてーじ」です。

第1部の講演では、社会福祉法人訪問の家施設長の庄司七重さんにお越し頂き「本人中心の支援～朋の実践を通して～」というテーマでご講演を頂きました。特に印象的だったことは、人はとにかく誰かと繋がって生活し、助け合って生きているということです。地域の一員として暮らしていく中で「人との出会い」を大切にすること、人と繋がる喜びを実感することで、地域全体で支え合う仕組みが出来上がるのだと感じました。また、日々の関わりの中で一人ひとりの表情の変化・小さなサインに着目し、職員一人ひとりが、『相手の気持ちに気づきたい』『受け止めたい』という姿勢を大切にすることで、相手の持っている「挑戦・希望・願い」等の日々溢れる思いに触れ、たくさんの可能性を広げることが出来るのだということ等…様々なエピソード一つひとつに刺激を受け、私たちの日々の実践を後押しして下さる機会となりました。お忙しい中、快く引き受けて下さった庄司さん、本当にありがとうございました。

第2部では、佐々木七恵さん、佐藤咲子さん、落合道代さん、阿部元就さんの4作品のすてーじを上映しました。本番を迎えるにあたり、本人と改めて向き合うきっかけが出来たからこそ生まれる疑問に戸惑う姿、慣れない機械操作に苦戦しながらも試行錯誤しながらじっくり時間をかけ進めていく姿…作成者1人ひとりが悩みに悩み、様々な思いを抱えながら時間をかけ作成してきました。ご来場いただいた方からは、アンケートを通してとても良いイベントだったとのご感想をいただきました。私たちが日頃、どんな思いで活動しているのか1人でも多くの方々に知ってもらい、一人ひとりの心に残るメッセージを発信できる役割を担っていきたいです。今後とも仙台つどいの家「すてーじ」を宜しくお願い致します！ (記：庄子)



「ボウリング場」に行ってきました



12月18日(月)、けやきグループの滝口奈美さん、もみじグループの櫻井賢治さん、くるみグループの橋本陽平さんで、「ボウリング」へ行ってきました。今回はラウンドワン 仙台苦竹店のボウリング場。メンバーの皆は久しぶりのボウリング場とあって気合十分。まずはボールを手に持ったり、床に置いたりしてボールを転がし、次に投球補助スロープを使って転がしてみました。色々な投げ方にチャレンジして、利用者も支援者も体をいっぱい動かしながら楽しみました。投げた後に倒れるピンをじっと見る人、投げた後にすぐに振り返って倒れるピンを見ない人、ピンが全部倒れて皆とハイタッチする人、後半にレーンまで歩くのも疲れていた人と普段とは違う雰囲気と気持ち、経験ができました。やっぱりボウリングはボウリング場でやるもんだと改めて感じました。今度はストライクが取れるように、また行きましょね！

(記：佐藤和)



ウェスティンホテルでランチ

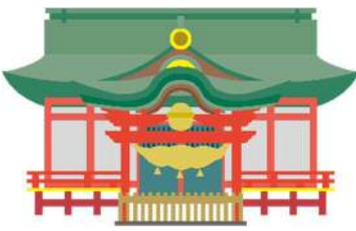
昨年、活動の希望聞き取りをした際に、早川奈津子さんとお母さんから「目の前でステーキを焼いてくれるお店に行ってみたい」というお話がありました。なかなかご家族で行くことは難しいとのことで、まずは活動で行ってみよう！ということになりました。

12月22日に早川奈津子さん、後藤彩也佳さんでウェスティンホテルの「一舞庵」へ鉄板焼きランチに行ってきました。一舞庵は、目の前でシェフが鉄板料理を焼いてくれます。ホテルでのお食事ということで、身だしなみを整え、おしゃれをして、みんなでドキドキワクワクしながらウェスティンホテルに向かいました。一舞庵は37階で、カウンターからは仙台市内を一望でき、眺めも最高でした♪



早川奈津さんは、中でもフィレステーキと湯葉のあんかけに良い反応をしていました。フィレステーキを食べると手を上げて、「うーん」と声を出しながら美味しそうに食べていました。コース料理で一品ずつ出てくる為、一品食べ終わってはテーブルを叩き、早く食べた〜い！とアピールしていました。後藤彩也佳さんは、シェフ特製のコンソメスープを飲みました。ゴクンゴクンと美味しそうにスープを飲み、ニコッと笑顔が見られました。

一舞庵のスタッフの方々も、段差がある所では車椅子を持ち上げて下さったり、ウェスティンホテルの入り口前に駐車させて頂き、本当に助かりました。ありがとうございました。今度は、奈津子さんがお父さん、お母さんと一緒に行けるようになると良いなと思いました。(記：佐藤唯)



大崎八幡宮に初詣に 行ってきました(^^)♪



1月4日(木) めいぶる・くるみ・もみじ合同で大崎八幡宮に初詣に行ってきました！
4日ということもあって駐車場が満車で、近くの臨時駐車場に車を止め、参拝場所まで歩きました。参拝場所に着くとお賽銭をいれて鈴をガラガラ鳴らし、手をあわせます。今年是一年どんな1年になるのか参拝しているとワクワクしてきました。

そして初詣といえば定番のおみくじ！！めいぶるグループの安藤共博さんは竹のなかにはいったおみくじに挑戦。結果は末吉でしたが、「努力次第で良くなる」と書いてありました。もみじグループの櫻井賢治さんは少し神社の方に手伝ってもらいながらおみくじをひきました。結果は大吉！！2018年のいいスタートになりました。

今年も1年いい年になるといいな…！としみじみと感じました。皆さんは2018年どんな年にしたいですか?? (記：高野)



冬は、やっぱり温泉～！身も心もリフレッシュ♨

仙台にも寒い冬の季節が到来。雪もチラチラと降り始めた頃、温泉が大好きなさんしょ・けやきグループで秋保温泉「緑水亭」に行ってきました。到着後、すぐに温泉へ！みなさん、ゆったりリラックスしながら入浴し、気持ちよさそうに表情が緩やかになっていました。尾崎有さんは、「あったけえ」と何度も言いながら、アゴのラインまでお湯に浸かり温まっていたね。入浴後は、みなさんお楽しみの昼食。今回は日帰り昼食付プランなので、それぞれ『おしながき』を眺めながら「どんな料理が運ばれてくるのかなぁ♪」と期待して、自然と笑みがこぼれていました。牛肉のしゃぶしゃぶ、天ぷら、お刺身…等目の前に並ぶ料理の数々に「何から食べようかなぁ」と迷ってしまうほど。一番人気は、「えびの天ぷら！」早川奈津子さんも大きく手を挙げ「おいしい～♪」とアピール。高橋智子さんは、初めて看護師の早坂康子さんとのお出かけで一気に距離が縮まり、食事中も耳を触るスキンシップ♪ 温泉と美味しい食事、身体と心が温まり、とても楽しいひと時でした。(記：庄子)



平成29年12月1日（金） 場所：元気フィールド

重症心身障がい者の地域生活を進め支援する会 （愛称：リーの会）施設長・職員合同研修会



研修会報告

施設長・職員合同研修会について

今年は「障害のある方の人権を考える」と題して、全国手をつなぐ育成会連合会統括の田中正博氏にご講演を頂き、共生社会や報酬改定などの話題を盛り込みながら、津久井やまゆり園の事件に潜む人権問題などの話をわかりやすくお話頂きました。

また、先進的な活動をしている事業所の視察研修報告会も行いました。今年は各事業所から1名ずつ参加して、横浜にある「社会福祉法人訪問の家」「社会福祉法人十愛療育会」の2ヶ所を見学した時の報告を行ないました。

リーの会ってどんな会？

宮城県内の重症心身障がい者が通っている事業所が集まり、情報共有や現状の課題などに一緒に取り組んでいる会です。



感想

初めての試みとして、経験年数や役職に分かれての意見交換会が行なわれました。共通する課題が多く、特に「人材不足」は逼迫した問題でした。福祉業界、事業所の工夫や改善策だけではなく、社会問題として捉える必要があり、リーの会のような組織の枠を超えた関係ができることで、働きかける大きな力になると思いました。（記：佐々木）

職員コラム

昨年11月に6泊8日でボルネオ島に行ってきました！

「ボルネオ島？」あまり聞き慣れないと思いますが、世界の島の中で3番目の面積を有する大きな島です。マレーシア、インドネシア、ブルネイの3カ国の領土で、今回訪れたのは東マレーシア最大の都市、『コタキナバル』です。日本との時差はマイナス1時間で、一年中暖かく平均して25℃～30℃と過ごしやすい気候。そんなボルネオ島の一番の魅力は自然が豊かで、海や川、山を一度に楽しめる所です。

海では、ボートで離島へ移動し、憧れの水上コテージへ宿泊。コテージのテラスからそのまま海に入れる為、日中はシュノーケリングを楽しみました。また、話題のインフィニティプールも体験し気分はウキウキ。夜は海上レストランで、大きな伊勢エビを食べ大満足。しかし、伊勢エビの値段を勘違い。現地での会話は全て英語だった為、1,000円と聞き取ったのが、グラム辺りの値段と聞き取れず、約10,000円の支払い。初めて食べた伊勢エビ。美味しかったし、英語の勉強代と自分に言い聞かせてすぐに眠りました。



川や山では、マングローブのリバークルーズに参加し、カニクイザル、シルバーリーフモンキー（別名：ベッカムザル）等の様々な野生の動物を鑑賞しました。その中でも一番の目玉はテングザルです。天狗のような長い鼻が特徴で、ボルネオ島にしか生息していない貴重なサルです。20分程ボートで移動し、ようやく木の上でくつろいでいるテングザルを発見。ツアー参加者は皆で「おーっ」と大喜び。その後も運良くたくさんのテングザルを見られました。夜になると1本1本の木に無数の蛍が群がり、まるでクリスマスツリーの様にピカピカ輝いて幻想的な風景でした。

楽しい時間はあっという間です。今年もまた海外旅行に行きたいな。（記：櫻井）





スケジュール schedule

2月

- 2日(金) 防災訓練
- 5日(月) 防災委員会
- 7日(水) 衛生委員会
- 8日(木) 音楽療法①
- 9日(金) 無線訓練 宮文販売会
- 16日(金) チーフ会議
- 20日(火) 施設懇談会
- 21日(水) 職員会議 健康相談
- 22日(木) 音楽療法②
- 27日(火) ケース会議 13:30 降所
- 28日(水) 安全委員会

3月

- 1日(木) 音楽療法①、新任職員研修
- 3日(土) 休日開館日(親子クッキング)
- 4日(日) 障害児・者性教育セミナー
- 6日(火) チーフ会議
- 7日(水) 衛生委員会
- 8日(木) ケース会議 13:30 降所
- 9日(金) 無線訓練
- 13日(火) 福祉プラザ販売会
- 15日(木) 音楽療法②
- 20日(火) 施設懇談会
- 22日(木) チーフ会議
- 23日(金) 職員会議
- 28日(水) 安全委員会
- 30日(金) ケース会議 13:30 降所

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(11月14日～1月13日まで)

吉田さん、シルビアさん、高橋さん、寺元さん、佐藤(正)さん、佐藤(李)さん、渡辺さん、関谷さん

見学・来訪者など

生け花：濱谷さん、音楽療法：向井田さん・菊池さん、アロマゆるっと、アロマ DE すまいる、BB モフランさん、多々良さん、アーチル：西村さん、つどいの家・コペル：ブドリグループ、オリザグループ、まんさく工房、あゆみの家：後藤さん、ぞうさんの家：木村さん、河北新報：橋本さん、気仙沼洗心会、白石陽光園：小室さん、日本環境衛生研究所、共栄防災、愛泉会、シャープドキュメント 21 ヨシダ、マルゼン、セトヤサプライ、ジェイシーアイ：瀬戸さん、東京サラヤ、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、バイタルネット、小田島アクティ、ハート総合自動車、ニッサンサテオ宮城、ホシザキ東北、サラヤ、日本テクノ：安田さん、リブドウコーポレーション：鈴木さん、

石橋さん、金森さん、加賀谷さん、千田さん、木村さん、星さん、伊藤さん、

法人職員：理事長、佐吉、飯田、渡部、秋男、福地、若生、可野、小林、澤村、佐藤(靖)、山口、加藤(仁)、小原、児玉、今野、佐伯、檜山、高杉、加藤(裕)、佐藤(瞳)、後藤、蜂谷、木村、元木、他多数

(以上、ご芳名順不同)

缶回収

11月の納品額

合計 3,342 円でした。

ご協力有難うございました



編集後記

今年も初売りに行って来ました～。中学生の頃から元旦は5時20分に起床し、ポストに入りきらない程のチラシを見て、どこのお店に行こうか考えるのが好きでした。あれから数十年経ちますが、今も変わらず恒例になっています(笑)。仙台初売りは他のセールとは異なり、売る人買う人がお互い幸福な年を過ごせるよう願った伝統行事で、様々な景品が出ます。今年はスポーツや食糧品等の福袋を8個購入しました。地元仙台的伝統行事をこれからも盛り上げていきたいです。(記：櫻井)

書き損じはがき、未使用切手、 使用済切手などありませんか？



年賀状やお礼状作成の折に書き損じたはがき、消費税増税前の額面の切手など、ご自宅に眠っていませんか？仙台つどいの家にぜひご提供ください！ご協力いただいたはがきや切手は、とんがらし通信の発送など『しょうがいのある方の理解促進のための啓発』に使用させていただきます。

また、『使用済み切手』もあわせて募集しています。こちらは日立親切会さんを通じて、視覚しょうがい大学生の奨学資金や海外への医師派遣に役立てられます。

ご協力の際は、直接ご持参・郵送くださるか、仙台つどいの家までご連絡ください。よろしく願いいたします。

【仙台つどいの家】

仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

☎022-293-3751

仙台つどいの家 職員募集！



みんなの笑顔に出会いたい
感動を分かち合いたい

あなたにしかできないことが
きっとみつかる

社会福祉法人 つどいの家 仙台つどいの家
仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
TEL 022 (293) 3751
FAX 022 (293) 3752

募集職種

①支援員：常勤または非常勤

⇒利用者の直接支援に携わります。身体介護（食事・排泄・外出等）も含まれます。

②調理員：非常勤

⇒利用者・職員分の給食（昼食：約60食）の調理・配膳・下膳等を栄養士・調理員とともに行ないます。

勤務

①常勤支援員は月～金曜の8時45分から17時45分の勤務（一日8時間・週40時間）を基本とします。

①非常勤支援員は月～金曜の9時から17時の勤務（一日7時間・週35時間）を基本とします。

②非常勤調理員は月～金曜の8時半から14時の勤務（一日5.5時間・週27.5時間）を基本とします。

*いずれも行事等により勤務曜日が変更になることもあります。

待遇

*常勤：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険加入
基本給は職能給十年齢給により算定
その他、資格・住居・通勤・家族等各種手当
例）22歳新卒者：157,460円+手当～
賞与2か月+成績賞与

*非常勤：契約時間数により各種保険加入
時給800円～
勤続3年経過から賞与1か月
1年契約・契約更新時昇給あり